

8月の日照不足の影響大！登熟の差が大きい！

- 晩生品種や中山間地域で出穂が遅れ、品種及び圃場ごとの差が大
- 特に晩生品種で出穂から穂揃いまで時間がかかり、登熟進度が緩慢
⇒ 出穂時期や生育の状況により登熟進度の差が大きい

ほ場ごとに適期を見極め、計画的に刈取りを進めましょう！

出穂時期により登熟進度の差が大きい。

- 出穂は、平坦部「はえぬき」、「雪若丸」が8月5日頃、「つや姫」、「コシヒカリ」が8月11日頃と平年並からやや遅い状況となっています。
- 穂揃期の生育は、穂数が少なく、1穂粒数が多く、総粒数は並の状況です。
- 8月からの日照不足の影響で、晩生品種を中心に穂揃いまでに時間がかかっており、同じ株内でも登熟進度にバラツキがみられるとともに、登熟進度は緩慢となっています。

農業技術普及課 生育診断圃 穂揃期の生育・登熟状況

品種	地域	年次	出穂期	穂数 (本/m ²)	1穂粒数 (粒)	m ² あたり粒数 (百粒/m ²)	登熟状況 8/30現在 (%)
はえぬき	川西町 吉田	R4	8/6	508	69.8	355	27.0
		平年	8/5	517	69.9	361	46.1
		平年比・差	+1	98	100	98	-19.1
	飯豊町 椿	R4	8/1	584	70.4	411	54.5
		平年	8/3	553	71.5	394	66.5
		平年比・差	-2	106	101	104	-12.0
つや姫	川西町 黒川	R4	8/11	491	70.8	348	4.3
		平年	8/9	475	71.0	337	26.9
		平年比・差	+2	103	100	103	-22.6
	飯豊町 椿	R4	8/9	470	72.1	338	14.3
		平年	8/9	489	71.5	350	28.9
		平年比・差	±0	96	101	97	-14.6
雪若丸	高畠町 山崎	R4	8/4	462	61.6	285	61.4
		指標	8/2	560	54.0	302	—
		指標比・差	+2	83	120	105	—
	飯豊町 椿	R4	7/30	629	58.1	365	68.8
		指標	8/2	560	54.0	300	—
		指標比・差	-3	112	108	122	—

稲をよく観察し適期内に刈取を終了！

○刈取時期は、出穂後の積算気温（下表）を目安とし、品種、ほ場ごとに

①青籾歩合、②籾水分（25%）、③枝梗の黄化（3分の2以上）等を確認して総合的に判断。計画的に刈取を開始し、適期内に終了しましょう。

出穂後積算気温による刈取適期を目安（平坦：高畠アメダス、中山間：高峰アメダス）

品種名	積算気温	刈始めの青籾歩合	出穂期（本年）	刈取り時期の目安
ひとめぼれ	950～ 1,100℃	15%	8月3日頃	9月13日～ 9月19日
はえぬき（平坦）	950～ 1,200℃	20%	8月5日頃	9月15日～ 9月28日
はえぬき（中山間）			8月8日頃	9月21日～ 10月6日
雪若丸	950～ 1,200℃	20%	8月5日頃	9月15日～ 9月28日
つや姫	1,000～ 1,200℃	15%	8月11日頃	9月26日～ 10月8日
コシヒカリ	1,000～ 1,200℃	15%	8月11日頃	9月26日～ 10月8日

※8月31日まで実測値、以降は平年値の平均気温を使用。

乾燥・調製は慎重に！

○収穫後は、速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風・循環を行い、ヤケ米の発生を防ぎます。

○高水分籾（水分25%以上）を急激に乾燥すると胴割れしやすくなるので注意が必要です。青籾が多い（籾水分のバラつきが大きい）場合は、「水分の戻り」に注意し、「夜間休止乾燥」や「二段乾燥」を行いましょう。

○籾すりは、籾を十分放冷し、適正水分であることを確認してから行います。籾すり前に必ず試しすりを行い、肌ずれや胴割れの発生を防ぎましょう。

○良質米生産のために、**1.90mm網目（LL）以上で選別**します。

雑草イネの発生に注意！

穂を触ったら籾がポロポロ落ちる、

玄米に赤米が混じる場合は雑草イネの可能性大！

置賜地域で主に赤いノゲが特徴の「背高型」と栽培品種とほぼ見た目が一緒の「擬態型」の2種の雑草イネが確認されています。

雑草イネを見つけた場合は、すぐに最寄りの普及課やJAにご相談ください。



STOP！農作業事故！～あせらず！気もまず！農作業！～

○収穫期はコンバインの事故が多発します。補助者の事故にも要注意。

○コンバインの詰まり除去や修理の際は、必ずエンジンを止めてから行いましょう。